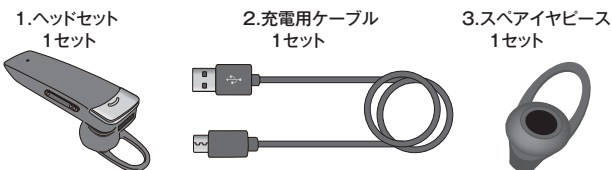


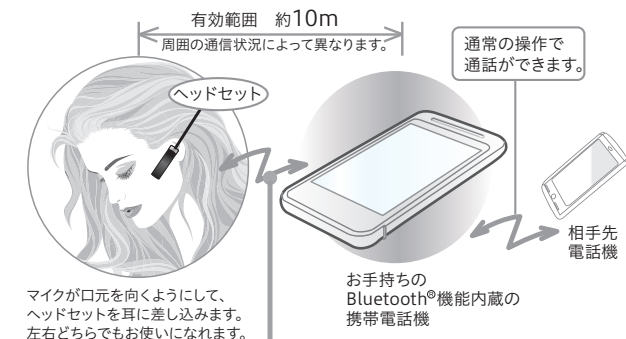
この度は弊社BT-11をお買い上げいただきましてありがとうございました。ご使用前にこの説明書をお読みいただき、正しくお使いください。「安全上の注意」は必ずお読みください。説明書は適当な場所に保管し、必要に応じてお読みください。

内容物の確認



ヘッドセットの基本動作と各部の名称

約10mの範囲で電話機を持たずに通話ができます。



お使いになる前に次の操作が必要です。

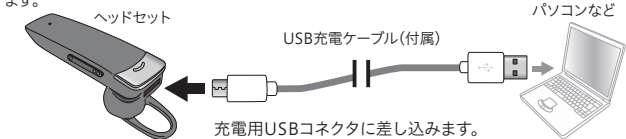
1. ヘッドセットを充電してください。 参照 お使いになる前に(1)
2. ヘッドセットと携帯電話機の「ペアリング」を行ってください。 参照 お使いになる前に(2)「ペアリング」

各部の名称



お使いになる前に(1) ヘッドセットを充電をする。

お使いいただく前に、ヘッドセットを充電してください。図のようにUSB端子のあるパソコン機器やAC-USB充電器とヘッドセットを接続します。また、車用のDC-USB充電器からも充電ができます。



充電時間について

充電時間は、最初にお使いになるときは約2.5時間充電してください。充電が終わりまじたらすみやかに機器を取り外してください。

お使いになる前に(2) ペアリング

お手持ちの携帯電話機とヘッドセットの通信条件を設定する操作を「ペアリング」といいます。「ペアリング」が完了していないと通話できません。お使いになる前の必要な操作ですので、以下の手順に従って必ず行ってください。最初に設定すればその後のペアリング操作は不要です。

電源はオフにしておきます。

電源スイッチを下にスライドします。

インジゲータが青と赤の交互に点滅してペアリング・モードに切り替わります。

電源スイッチを下にスライドしてください。

インジゲータが赤と青同時に3回点滅した後、青が6回点滅します。その後に赤と青が交互に点滅するとペアリングモードです。

1. ヘッドセットと電話機を並べて置きます。

携帯電話機の電源がオンになっているかどうか確認してください。

2. ヘッドセットの電源はオフにしておきます。

Bluetooth®機能の操作は、電話機によって異なります。設定操作についてはお手持ちの電話機の説明書をお読みになるか、電話会社にお問い合わせください。

3. ペアリングを開始します。

Bluetooth®機能の操作は、電話機によって異なります。設定操作についてはお手持ちの電話機の説明書をお読みになるか、電話会社にお問い合わせください。

●操作の後、携帯電話の表示パネルに「BT-11」と表示されます。

●「BT-11」を選択します。

●パスキー(PINコード)の入力を要求されたら「0000」と入力してください。

●電話機がヘッドセットとのペアリングを開始します。しばらく時間がかかることがあります。

ペアリングの完了
ペアリングが完了するとインジゲータ(青)が点滅します。

●「BT-11」を選択します。

●パスキー(PINコード)の入力を要求されたら「0000」と入力してください。

●電話機がヘッドセットとのペアリングを開始します。しばらく時間がかかることがあります。

●操作の後、携帯電話の表示パネルに「BT-11」と表示されます。

●「BT-11」を選択します。

●パスキー(PINコード)の入力を要求されたら「0000」と入力してください。

●電話機がヘッドセットとのペアリングを開始します。しばらく時間がかかることがあります。

※ペアリングの異常
ペアリングが2分30秒以内に完了しない場合は、ヘッドセットの電源が自動的にオフになります。その時は、ペアリングを最初からやり直してください。

基本的な使い方

1. 電源のオンとオフ。

電源オン 赤青同時点滅3回。

電源をオンにする。

電源スイッチを下にスライドします。インジゲータランプの赤と青が同時に3回点滅します。ペアリング済みで、電話機との通信可能な距離に有る場合は、自動で電話機と接続します。

※ペアリング済みでも電話機と通信可能な距離に無い場合はペアリングモードになります。(インジゲータランプが赤と青に交互に点滅します)

電源オフ 赤青同時点滅3回。

電源をオフにする。

電源スイッチを上スライドします。(インジゲータランプの赤と青が同時に3回点滅し、電源がオフになります)

ご注意
ヘッドセットは通話中でなくても携帯電話機との接続を維持するために常に電力を消費しています。使用しない時は電源はオフにしておくことをお勧めします。

2. 電話をかける。

電話機側で発信する。

電話をかける。

電話機側で発信操作を行います。その後音声を下記に従い、ヘッドセットに切り替えてください。

2回短く押す。

電話機から音声を切り替える。

電話機の発信中または通話中にヘッドセットのファンクションボタンを短く2回押してください。

基本的な使い方

3. 電話を受ける。

電話を受ける。

着信中にファンクションボタンを短く1回押してください。

ヘッドセットの音量を調節する。

電話機の発信中または通話中にヘッドセットの音量ボタンを押して、音量を調整してください。

1回短く押す。

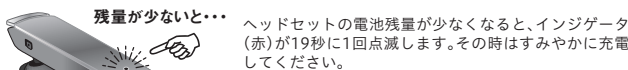
4. 電話を切る。

電話を切る。

通話中にファンクションボタンを短く1回押してください。

1回短く押す。

電池の残量について「インジゲータ」でチェックすることができます。



便利な使い方

通話を電話機の通話に切り替えるには

2回短く押す。

発信中、または通話中にファンクションボタンを短く2回押します。

リダイヤル機能

約2秒長押し。

リダイヤル機能がついています。ファンクションボタンを約2秒間長押ししてください。最後におかけになった電話番号へもう1度かかります。

音楽を聴く

電話機で音楽再生する。

本機で音楽を聴くことができます。電話機で音楽を再生してください。音楽再生中にファンクションボタンを短く押すと再生が止まります。音量ボタン⊕ボタンを長押しすると次曲へ、⊖ボタンを長押しすると前曲へスキップします。

⊕ボタン約1秒長押し
次の曲にスキップする。

短く押すと一時停止。

⊖ボタン約1秒長押し
前の曲にスキップする。

インジゲータの表示と動作

インジゲータ表示・発音音は以下の動作を示します。

機能	色	状態
充電中	赤	点灯
充電完了	青	点灯
電源オン	赤/青	赤と青が同時に3回点滅
電源オフ	赤/青	赤と青が同時に3回点滅
ペアリング	赤/青	赤と青が交互に点滅
電話機と接続中	青	LEDが5秒間隔で点灯
通話中	赤/青	赤と青が3秒間隔で3回点滅

安全上の注意


この注意事項はお使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には必ず注意事項をお守りください。


警告および注意事項

警告 この表示を無視して誤った取扱をすると、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容を示しています。


注意 この表示を無視して誤った取扱をすると、「傷害を負う可能性または物的損害のみの発生する可能性が想定される」内容を示しています。


絵記号の意味


 このような絵表示は、してはけない「禁止」内容です。


 このような絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。


警告


 所定の充電時間を超過しても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。電池の発熱、破裂、発火の原因になります。


 電池の漏洩、異臭があった場合は、火気に近づけないでください。漏洩した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。


 漏洩した電池液が目に入った場合は、水道水などのきれいな水で目を洗い、速やかに医師の診察を受けてください。そのまま放置すると目に障害を与える原因となります。


 漏洩した電池液が皮膚や衣服に付着した場合は、水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。


 濡らさないでください。水やベットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因になります。使用場所、取扱にご注意ください。


 電子レンジや高圧容器に入れてください。発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。


 火の中に投入したり、加熱しないでください。破裂、発火の原因になります。


 分解、改造をしないでください。感電、火災、故障の原因となります。


 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。故障、火災の原因となります。


 火気のそばや、炎天下駐車中など、高温の場所で充電をしないでください。高温になると保護機能が損傷し、発熱、破裂、発火の原因になります。


 煙、異臭、異音が出た場合はすぐに使用を中止してください。電源がある場合は、電源を切ってコンセントからプラグを抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

 本製品を病院内で使用しないでください。医療機器の誤動作の原因になることがあります。

 本製品を飛行機の中で使用しないでください。飛行機の計器などの誤動作の原因になります。

 日本国外では使用できません。


 乳幼児の手の届く所に置かないでください。思わぬ事故の原因になります。


 本製品の充電については説明書に従って正しく行ってください。指定された以外の方法で充電を行うと、発熱、破裂、発火の原因になります。

保証書


品名	ワイヤレスハンズフリー	型番	BT-11
保証期間	年 月 日から 電池：3ヶ月間 本体：1年間		
販売店	店名・住所		


注意

 高温になる場所に放置しないでください。

 強い静電気が発生する場所では使用しないでください。

 充電は5～35℃の温度範囲で行ってください。

 長時間使用しないときでも、1ヶ月に1度は一旦放電し、あらためて充電をしてください。長時間使用しないと電池が十分に充電されないことがあります。1ヶ月に1度は充放電を行ってください。

 本製品は以下の環境では使用しないでください。振動や衝撃が強い場所/湿気やホコリが多い場所/温度、湿度の変化が著しい場所/湿度が高くなる場所/強い磁力、電波の発生する場所/静電気の影響が強い場所

※車の運転にもお使いいただけますが、運転中の電話機の操作は禁止されています。機器の操作は車を安全な場所に停車させてから行ってください。ご利用にあたっては各都道府県の条例に従ってください。

使用上の注意

通信及び他の機器への影響について。
本製品は2.4GHz帯域の電波を使用しております。障害物や他の電気製品から影響を受け、また影響を与える場合がありますので、ご使用にあたっては以下の点にご注意ください。

他の電気製品の影響について。
電気製品(AV、OA機器)からは2m以上離してお使いください。本製品の通信の障害になるか、もしくはテレビ、ラジオなどの受信障害になる場合があります。特に電子レンジは通信に影響を与えますので3m以上離してお使いください。放送局などの近くでは正常に通信ができない場合があります。そのときは良好な場所に移動してください。

無線LAN機器との電波障害について。
IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品は同一周波数帯を使用しています。そのため機器の近くで使用すると、通信速度の低下や通信不良の電波障害が発生します。その場合は場所を移動するか使用しない無線LAN機器の電源を切ってください。

医療用機器について。
ペースメーカーなど医療用機器の近くでは使用しないでください。

2.4GHz帯使用の無線機器について。
この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない)が運用されています。この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。

混信について。
本機と同様の機器を複数お使いの場合、あるいは近くの方が同様の機器を使用されている場合、機器の性質上混信を起こす場合があります。その時は他の機器の使用をお止めになるか、混信をしない場所に移動してお使いください。

通信距離について。
本機の有効通信距離は見通し距離で約10mです。間にコンクリートの壁などがあると、良好な通信ができなくなる場合があります。通信をささぎるものがない環境でご利用ください。

データの消失または変改について。
電話機のデータは何らかの原因により、消失または変改されるおそれがあります。不測の事態に備えて必要なデータはバックアップを行ってください。本機の使用にあたり、万一データの消失または変改が発生しても弊社は一切の責任を負いません。

充電について。
充電器は指定されたものをお使いください。指定以外の定格の異なる充電器をお使いになると、電池の性能を損なうばかりでなく、液漏れ、発熱、発火の恐れがあります。長時間(6時間以上)の充電は電池寿命を損なう恐れがあります。充電時間は150分を目安にしてください。150分を超えても十分な充電がされない場合は電池寿命の可能性がります。高温及び低温下では充電効率が低下するばかりでなく、電池寿命が劣化します。気温5℃～35℃で充電してください。長時間使用しないときでも、1ヶ月に1度は一旦放電し、改めて充電をしてください。長時間使用しないと電池が十分に充電されないことがあります。1ヶ月に1度は充放電を行ってください。

電池について。
使用状態によって異なりますが、およそ300～500回の充電が可能です。それを超えると電池内部の電解質が劣化して電池寿命になります。充電しても使用時間が短い場合は電池寿命と思われしますので、交換を希望される場合は弊社窓口にお問い合わせください。(※電池は消耗品のため、交換は有償となります。)電話機との接続を維持するためにヘッドセットは常に電池を消費しています。電池の消費を抑えるために、ご使用にならない時はヘッドセットは電源をオフにしておくことをお勧めします。

使用環境について。
高温・低温下で使用したり、放置しないでください。電池容量が低下し、電池寿命も短くなります。電池寿命が尽きた場合は弊社窓口にお問い合わせください。ご自分で交換することはお止めください。本機はリチウム・イオン電池を使用しています。廃棄するとき是一般のゴミと一緒にしないでください。

主な仕様

項目	仕様
適合規格	V4.1 + EDR
キャリア周波数	2.402～2.480GHz
周波数拡散方式	Frequency Hopping Spread Spectrum
通信距離	最大10m (障害物なきこと)
対応プロファイル	HFP、HSP、A2DP、AVRCP
送信出力	Class2
使用電池	3.7Vリチウム電池
充電電流	80mA
充電時間	150分
消費電流	待機時:1.6mA、通話時:13mA、再生時:15mA
連続通話	7時間
再生時間	6時間
連続待機時間	60時間

※記載数値は標準値です。仕様については改善等の諸事情により予告なく変更することがあります。

故障かな?と思ったら。

ご使用にあたってうまく動作しない場合は、その症状に該当する右側の対処に従って操作をしてください。対処に従っても正常に動作しない場合は弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

症状	原因	対処法	参照
電源が入らない。	充電がされていない。	付属のUSBケーブルで充電を行ってください。	ヘッドセットを充電する。
通話ができない。	ペアリングができていない。	ペアリングを行ってください。ペアリングの状態は携帯電話機とヘッドセットのインジゲータで確認できます。	お使いになる前にペアリング
	ファンクションボタンを押していない。	電話がかかってきたときはファンクションボタンを1回押して着信させてください。	電話を受ける。
	有効範囲を超えている。	電話機との距離が10mを超えるか、間に障害物があると通話ができなくなります。距離を近づけてください。	ヘッドセットの基本動作と各部の名称
	周辺に電気機器がある。	OA、AV機器や無線LANなどがあると通信障害がおこります。影響のない場所に移動してください。	便利な使い方 ヘッドセットでの通話を、電話機の通話に切り替える。
	電話機側での通話になっている。	ファンクションボタンを2回押ししてヘッドセット側に切替えます。	音声を切り替える。
	携帯電話がオンになっていない。	携帯電話機をオンにします。	基本的な使い方
すぐに電池がなくなる。	充電が十分でない。	150分ほど充電してください。	ヘッドセットを充電する。
	電池寿命が尽きている。	新しい電池と交換してください。	使用上の注意 電池寿命について

お客様商品
お問合せ番号

0570-666-570

受付時間:平日午前10時～午後6時

オズマ株式会社

〒222-0001 横浜市港北区樽町4-5-14
www.osma.co.jp